



国立病院機構ってどんな病院？

Q 「国立病院機構〇〇病院」という名称を目にしますが、どういう病院なのか。

A かつて国立病院機構は、国の直轄で運営されていました。しかし、12 年前（2004 年度）に独立行政法人という形態に変わりました。独立行政法人とは、国が行う特定の事業を任された法人組織のことです。運営主体が独立行政法人に変わると、責任をもって独立して事業運営にあたるために収支改善が図られることが少なくありません。国の事業を効率化しようという大きな流れのなかで、国立病院も見直されたということです。

Q それで経営はどう変わったのですか。

A 「国立」という名称が付いているため、赤字を補填（ほてん）するために国から多額の補助金（税金）などを受けていると思われがちですが、自前の収入で診療事業を行っています。各病院が経営改善に取り組んだことで、民間企業でいう黒字経営を続けられるようになりました。

Q 患者さんにはどんなメリットがあるのでしょうか。

A 経営の自由度が増したことで患者さんのためになる研究を重点的に行ったり、人材も必要に応じて増やせるようになり、医療の質や患者サービスの向上に結びついています。